

## 瑞浪市道の駅基本構想案に対する 意見募集（パブリックコメント）の実施結果と回答について

### 1. パブリックコメント実施結果

- ・意見募集期間：平成31年4月15日（月）～ 令和元年5月14日（火）
- ・資料公表場所等：都市計画課窓口, 各コミュニティーセンター, 瑞浪市ホームページ
- ・ホームページアクセス数：58件
- ・意見応募者：2名
- ・意見数：5件

いただいたご意見について、適宜要約したうえ、市の考え方について次のとおり公表いたします。

### 2. 応募意見要旨と市の考え方

番号	意見要旨	市の考え方
1	<p>釜戸町に必要なのはアンケート結果よりスーパーやコンビニなど日常生活に必要な華のない施設。</p> <p>買い物弱者のために移動スーパー旨味屋さんが各地を走っておられますがタイミングを逃されたりする方もいると思うので釜戸の方の生活を考えるとスーパー（病院が無くなってしまったなら生鮮を扱うドラッグストアの方がいいのかも）誘致の方が住民には嬉しいと思います。</p> <p>既に「きなあた」がありながら釜戸に新しく道の駅が出来てもいくら差別化を計り共存を目指すと言われていますが黒字経営ができるとは思えません。町外の市民の意見として、赤字の補填として支払った市民税が使われると思うと実に腹立たしいです。</p> <p>病院が無いのが切実で体調が悪いのに遠くまで車で薬を買いに行くなんて若い人でも大変な事。高齢者の割合が増えているので尚更です。そこで、維持管理も自身がやってくれる生鮮食品を扱うドラッグストア誘致の方が合理的だと思います。</p>	<p>スーパーやドラッグストア等の民間事業者が、自ら利益を生み、継続的に経営され、計画地周辺の暮らし易さが向上することが理想です。しかしながら、現在の釜戸住民だけの利用では、スーパーやドラッグストアを経営していくことができないため、民間事業者が進出しにくい現状であると考えます。そこで、住民以外の集客も見込める道の駅として整備し、その中の機能として、生活に必要な日用品も扱う「よろずや」的な機能を有した小売店舗を導入できないかと考えています。日用品等を扱うことで、地域住民の利用を見込み、道の駅とすることで道路利用者の施設利用を見込みます。両者が利用することで、施設の維持管理を含めた健全な運営の可能性が高まると考えます。</p> <p style="text-align: right;">（基本構想案 P23）</p>
2	<p>釜戸が目指すのはアンケートにもありましたが水晶山や竜吟の滝を生かした姿ではないですか。</p>	<p>水晶山や竜吟の滝等、周辺には魅力ある自然環境等の地域資源が存在しています。これらの地域資源と連携し、相乗効果が生まれるようなまちを目指します。そのまちを実現するために、道の駅が担う役割を整理しました。</p> <p style="text-align: right;">（基本構想案 P15, P19）</p>

3	<p>釜戸町は中央高速道路が近い事を踏まえると県内に乱立する道の駅よりもハイウェイオアシスの方が県外からの集客も見込め、活性化に繋がるのではないのでしょうか。市民からも一般道からも入れるハイウェイオアシスは憩いの場としてとても便利だと思います。</p> <p>隣の土岐市に県内一集客のあるアウトレットがあるのですから、みなさん高速道路を使われると思います。少し足を伸ばして自然とふれあえるハイウェイオアシスで食事したり自然あふれる環境で遊んで頂く、ハイウェイオアシスなら高速道路から下りる事ありませんから足も伸ばしやすい。ペットや小さな子供連れの家族には嬉しいと思います。</p>	<p>今回検討しているのは、国道19号瑞浪恵那道路整備に伴う道の駅であるため、高速道路の休憩施設であるハイウェイオアシスについては検討していません。</p> <p>また、周辺の魅力ある地域資源を生かし、個性的な道の駅となるように基本構想案を作成しました。</p> <p>基本構想案の中では、現在ある良好な自然環境も地域資源と位置づけており、利用者がそれらの魅力を感じることができる施設を目指すこととしています。</p> <p>(基本構想案 P23)</p>
4	<p>子供に川で虫や魚とり遊びをさせたいと思い市内を探しましたが遊べるような所がありません。</p> <p>化石公園は整備され過ぎて生き物がいません。</p> <p>未来を担う子供たちに「私たちは自然のほんの一部なんだから森や川を守って行ってね」と伝えたい。自然を大切にする大人に育てて欲しいという母の願いでもあります。</p>	<p>良好な地域の資源である、土岐川や佐々良木川等の周辺の自然環境・水辺を生かし、自然に囲まれた広場、水に親しみやすい広場を整備する方針としています。</p> <p>(基本構想案 P23, P26)</p>
5	<p>道の駅の姿と釜戸地区が抱える問題や理想とする将来像については、基本的には分離して考えるべきだと思います。というのは、道の駅の機能は道を利用する人々の利便性を重視して考えるべきだと思うからです。その上で、瑞浪市の特産品販売や観光案内などの特色を持たせることはよいと思いますが、道の駅に、釜戸地区の問題解決の機能を期待するのは違います。道の駅は、あくまでも瑞恵バイパスを利用して瑞浪や釜戸へ来られた人々が憩える場とすることを本筋とした方が、どのような施設にするか？どのようなサービスを盛り込むか？どのように運営するか？が明確にしやすいと思いますし、利用する人に喜んでもらえると思います。もし、釜戸地区の活動と関連付けるなら、「夏祭りの会場に利用する」など、より具体的な利用方法を想定するとイメージが付きやすいです。そうならば、「道の駅にイベントステージを設置する」などの具体的なイメージもわきます。あるいは、道の駅は道の駅として設置しつつ、その近隣にイベント広場やコミュニティーセンター、幼稚園、デイサービスセンター、…諸々の地域住民のための施設が集約されることは、それはそれで良い事だと思います。</p> <p>釜戸地区の地域活性化は道の駅よりもむしろJR釜戸駅を</p>	<p>ご意見にありましたとおり、宅地の問題など、様々な問題がある中で、検討している道の駅だけでなく、釜戸のまちづくり・活性化を実現することは難しいと考えています。しかしながら、整備する道の駅が、まちづくりの中で、どのような役割を担うことができるかを、今の段階からしっかり検討することで、今後、まちづくりの課題解決に寄与できる施設になると考えます。</p> <p>道路利用者の休憩施設として整備する道の駅ですが、今回検討する道の駅には、土産品だけでなく地元の人が日用品を買える店であったり、観光やイベントを含めた地域の魅力を発信できる機能であったり、今後のまちづくりにとって必要な機能も導入できると考えています。今後、機能や施設について検討を深めていく中で、より具体的に、役割や利用方法がイメージできるように検討していきます。</p> <p>釜戸のまちづくり・活性化を目指す中、道の駅がその一部を担う施設になるよう基本構想案を作成しました。</p>

<p>中心に考えるべきだと思います。何よりも「人」が住むためには、宅地が必要です。釜戸に住み続けるのに必要な条件は、「複数台の駐車スペースも確保でき、多世帯が住めるゆったりとした宅地と住居」です。親子世帯が住める程度では、子どもが成長したら、家を出てしまいます。家を出た若者は、別の地に家を持ち、もう釜戸へは戻りません。残された親世代が居なくなれば、家は空き家になります。現在の釜戸の人口流出はこのような構図のもとで生じていると思います。そして、人口減少の区毎の格差もあるので、区の再編成や、居住地域の釜戸駅周辺への集約なども、今後考える必要があると思います。その時に、釜戸駅周辺に、二世帯住宅が造れて駐車場も3~4台分はとれるくらいの住居環境があれば、釜戸に留まってあるいはUターンして住もうと思う若者世帯も増えるのではないかと考えています。そして、JR釜戸駅を中心とした商店街も含め、ふたたび賑やかになると嬉しいです。</p> <p>以上のことから、道の駅と釜戸地区の活性化問題とは、一線を引いて考えることが良いと思います。そして、釜戸地区の活性化については、道の駅の事とは別に、もっと現実的な問題（人口流出）に対して具体的対応（必要な宅地を柔軟に獲得できる環境）を考えていかないと解決できません。もし、道の駅構想と地域活性化をごちゃ混ぜにしまえば、「道の駅を造るときに釜戸の活性化についても策を練ったが、結局どうにもならなかった」という結論がまっていることは、火を見るよりも明らかです。</p>	<p>(基本構想案 P15~P19)</p> <p>また、瑞浪市都市計画マスタープランでは、釜戸駅周辺を「地域拠点」と位置づけており、土地利用方針は「JR 釜戸駅周辺は、今後の瑞浪恵那道路の整備などを踏まえ、土岐川左岸の農用地は、長期的には都市的土地利用への転換を図るゾーン」としています。今後、瑞浪恵那道路整備による周辺環境の変化を見極めつつ、宅地化を含めた適切な土地利用を図っていく方針としています。また現在も「空き家・空き地バンク」など、住居・宅地に関する取り組みを行っています。</p> <p>ご意見にもありました通り、道の駅だけで地域の課題を解決することは困難ですが、まちづくりに関する様々な施策と組み合わせる中で、地域課題の解決、地域振興ができるような道の駅を目指します。</p>
--	--